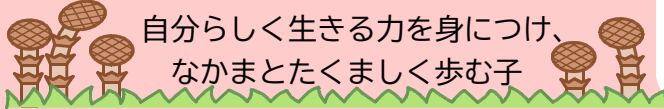




TOGO! だより



自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

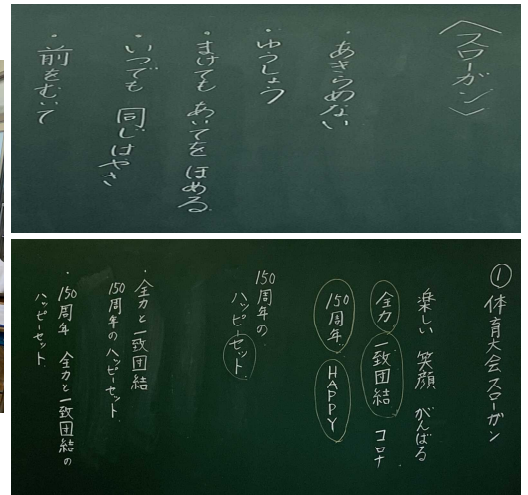
福井市東郷小学校 学校だより
令和4年9月5日 第17号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

夏休み明け学校再開(GO!)、一週間が過ぎました

日焼けした東郷っ子のにぎやかな声が、学校にもどってきました。どの子どもも自分のペースで学校生活のリズムを取り戻しています。

9月29日(木)の校内体育大会では、熱中症対策のため、児童席にテント10張りを立てることにしました。また、17日(土)のPTA親子研修では、「150周年記念カルタ制作」ということで、44枚のカルタの読み札と絵札を親子で考え、作り上げていくことになりました。集団登校班を基本にしたグループで集まり、「東郷の誇り」をカルタにしていきます。

テント張りのご協力や親子でカルタ作りなど、保護者の方にはこれからも様々なご協力をいただくこととなります。子どもたち、これからの行事に目を輝かせてワクワクしています。引き続きご支援のほどよろしくお願ひします。



↑ 担任が描いた絵とともに、久しぶりの朝の会の様子 ↑
体育大会スローガンをクラスで考えています

7月学校評価に対するご意見、ありがとうございます



学校だより第15号(7月学校評価集計結果)に対し、貴重なご意見をいただきました。

- ・「夢」「目標」「自分」を語る児童のところで、児童と保護者のギャップが大きい。家であまり話ができていると感じた。
- ・「夢」「目標」「自分」を語る児童のところで、児童の評価が高い結果を嬉しく思う反面、保護者の評価が低いことが気になりました。自分自身を振り返ってみると、子どもに対する期待値が高く、子どもの自己肯定感をそいでしまっていないかと思いました。子どもが自分に対して良い評価をしている時、まずそのままを受け入れ、ほめてあげたいと思います。そうやって、成功体験を積み上げていって、子どもが自分に自信をもっていく一助になりたいです。

本当にありがたいご意見でしたし、これは、我々教職員にもあてはまると感じました。「子どもができていと感じていることを、聞いて、認めてほめる」「夢や目標について、人生の先輩として、子どもに語る、伝える」「(いつか夢や目標ができたときのために)今やっておくといいこと、つけておくとい力について語り合う」などのことを、学校でもどんどんやっていきたいです。

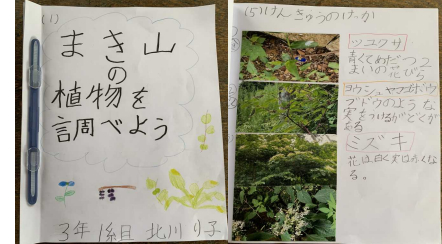
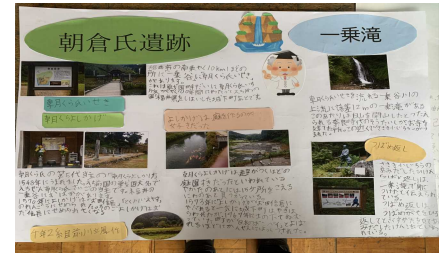
そして、子どもにとっては、おうちの方とのお話が何よりのきっかけとなり、励みとなり、宝物となることでしょう。夢や目標、今の自分のことなど、じっくりと話をする機会をぜひもっててください。7月学校評価結果に何するご意見・ご感想は、今後もお待ちしております。教職員一人一人が夏季休業中に行った振り返りも、今後お知らせしていきます。



夏休み「図画工作、理科・社会研究」作品展より

今年もたくさんの作品が寄せられ、8月29日～9月2日の期間で校内作品展を行いました。植物採集、昆虫採集、様々な工作など、力作がそろって作品展示となりました。

その中で目をひいたのは、「ふるさと東郷」のことについて自分なりの視点で、調査・考察した作品がたくさんあったことです。ここにも児童の「ふるさと東郷を思う気持ち」が表れていると感心しました。ほんの一部ですが紹介します。



県事業「推奨図書わくわく読書活動応援事業」の指定を受けました

今年度、本校が見出しの県事業指定校となりました。県が選定した推奨図書(72冊)を活用した様々な取り組みがなされます。(推奨図書は72冊×3セット、県と市から本校に寄せられています。)その第一弾として公立図書館司書さんが来校し、全学年にブックトークを行ってくれます。9月1日には、5年生と6年生それぞれ1時間ずつ、福井市立図書館司書の芝原さんから「扉」をテーマに7冊の本の紹介がありました。子どもたちは、紹介された本の世界に引き込まれていました。今後、「全校児童でこの本読もう(推奨図書を読んだらカードにシールを貼る)」「ビブリオバトル(5年)」「本の帯コンクール(図書委員と4年生)」等の活動が行われる予定です。この活動を通して、東郷っ子の「わくわく読書」をさらに推し進めていきたいです。



<ブックトーク後の児童感想より>

- ・僕がおもしろかったのは、「風船で宇宙を見たい!」という本です。風船だけで宇宙を見られるなんてすごいし、そう思っただけでもすごいなと思いました。一番最後に(司書さんが)本を見ないで読み聞かせをしてくれたのはすごいと思いました。(5年 M・Iさん)
- ・ブックトークを聞いて、おもしろい本がたくさんあって、特に「十一月の扉」が読みたくなりました。また、本の紹介をしてくれた方が、ゆっくり話してくれたり、本のさし絵を見ることができたりして、さらに紹介をしてくれた本が気になりました。(6年 T・Kさん)

